

愛媛県立松山南高等学校 「課題研究 (SS)」 ポスター発表用ルーブリック評価スケール

領域	評価項目	5 (際立って良い)	4 (良い)	3 (標準)	2 (不十分な点がある)	1 (不十分)
テーマ設定	先行研究と調査内容	研究テーマに関連する先行研究の文献や資料を期待される以上の範囲で調べ、その結果に基づいて研究すべき項目や問題点を明確にしている。	研究テーマに必要な先行研究の文献や資料が調べられており、研究すべき項目や問題点に関連づけている。	研究テーマに必要な先行研究の初歩的な文献や資料を調べ、何が研究されているのかをおおよそ把握している。	研究テーマに必要な先行研究を多少調べたものの、これまで研究されてきた内容を十分把握できていない。	研究テーマに必要な先行研究を調べていない。
	課題意識とテーマ設定	先端的／現代的な課題意識でテーマ設定がなされており、今後の研究により学術的・社会的な問題解決へと発展していく可能性が高い。	学術的・社会的な課題意識をもとにテーマ設定が考案されており、今後の研究により課題解決に結びつくことが期待される。	学術的・社会的な課題意識をもとにテーマを考えようとしているが、目新しい発想というわけではない。	学術的・社会的な課題意識から考えたというよりも、表面的な発想からテーマ設定を行っている。	単なる思いつきによるテーマ設定である。
研究内容	研究方法の妥当性	研究目的を達成するための、緻密で発想に富んだ研究方法が考案されている。	研究目的を達成するのに、現実性のある研究方法が具体的に考えられている。	研究目的に照らして研究方法を検討している。方法の実現可能性については、さらに検討していく必要がある。	研究方法是考えているが、研究目的を達成するためには検討が不十分である。	研究方法を自分で考えようとしていない。
	結果の扱いと考察	仮説に一致しない結果も含めて公平に扱われ、科学的に解釈しようとしており、その結果から論理的で説得力のある考察がなされている。	仮説に一致しない結果も含めて公平に扱われ、科学的に解釈しようとしており、その結果がある程度論理的に考察されている。	科学的に解釈しようとしているが、結果に対する公平性がやや欠けており、その結果のみから考察している。	科学的に解釈しようとしているが、結果に対する公平性が欠けており、結果の解釈に一部飛躍が見られる。	考察するには不十分な結果しか得られていなかったり、信頼性のある結果がほとんどなく、考察をするには至っていない。
発表	発表の内容	レベルの高い情報が明快な論理に基づいて構成されており、読み手／聞き手が内容を的確に理解することができる。	調査した内容が論理的な構成で述べられており、読み手／聞き手が理解しやすい表現となっている。	定型的な構成でおおむね論理的に述べられているが、若干情報不足の箇所がある。	形式的には定型的な構成をなぞっているが、論理性に難があったり、情報が不足していたりして、読み手／聞き手が内容を理解しにくい。	内容構成が適切に配置されていない。提供される情報が不足しており、読み手／聞き手は内容を理解できない。
	ポスターの表示方法と文体	統一された表示と文体で、専門的用語もふんだんに用いられている。文章構成が論理的で説得力に富んでいる。	統一された表示と文体で必要な専門的用語が用いられている。文章は論理的に述べられている。	表示と文体の統一感があり、文章の構成もおおむね論理的であるが、専門的用語を用いるなど、より専門的な表現が望まれる。	表示と文体に統一感がなかったり、文章構成に論理的でないところがある。誤字脱字等が数カ所ある。	文章表現が著しく劣り、誤字脱字等が多数見られたりする。
	ポスターのレイアウト	ポスターの構成と配色が工夫されており、読み手／聞き手が内容を十分理解できるよう配慮されている。	読み手／聞き手がポスターの内容を理解しやすいように、構成と配色を考えている。	読み手／聞き手がポスターの内容を理解しやすいよう、構成と配色を考えているが、あまり効果的ではない。	ポスターの構成や配色にあまり工夫がなく、読み手／聞き手が内容を理解するには時間がかかる。	ポスターの構成と配色が煩雑で、読み手／聞き手が理解できない。
	分析と結果	豊富な資料やデータをもとに優れた分析がなされている。必要な場合には手の込んだ図、表、グラフ等が作成・配置されている。	必要とされる資料やデータを得て、適切な分析がなされている。図、表、グラフ等が用いられている場合、それらが適切に作成・配置されている。	資料やデータの分析は、おおむね適切と言える。図、表、グラフ等が用いられている場合、初歩的ながらもおおむね適切に作成されている。	資料やデータが不足していたり、分析が適切さを欠いているところがある。図、表、グラフ等が用いられている場合、適切に作成されていない。	資料やデータの調べ方が不適切である。必要と思われる図、表、グラフ等が作成されていない。
	発表態度	原稿に頼らず自分の言葉で研究内容を説明している。自信に満ちあふれた説得力のあるプレゼンテーションで、聞き手を魅了している。	一部原稿を参照する場面も見られつつも自分の言葉で発表している。言葉遣い、声の大きさ、話す速度が適切であり、分かりやすい。	半分程度は原稿を見ながら発表しているが、言葉遣い、声の大きさ、話す速度については、おおむね適切である。	言葉遣い、声の大きさ、話す速度が適切でなく聞き取りにくい。終始原稿を見ながら発表し、自分の言葉で発表できていない。	声が小さく発表内容が聞き取れない。
	質疑応答	質問者の意図を的確に把握し、専門的な質問にも簡潔かつ的確に答えられている。	質問に対して、研究内容に基づいた的確な応答ができる。	質問内容をほぼ把握して応答できているが、余分な内容が多くなったり情報が不足したりしているところもある。	質問内容を把握できないまま応答しているため、質問と答えとが対応していない。	無言やあいまいな答えに終始し、質問に答えられていない。